



くわた 恭子 通信

<http://kyoko.moo.jp>
zxkyoko@yahoo.co.jp [無所属]

地域の皆様、お世話になります。広島市議会議員のくわた恭子です。今回の議会は1ヶ月半におよんだ平成28年度予算です。紙面を拡大して報告いたします。

1面	乳幼児医療費補助の拡大については、概ね 賛成 乳幼児医療費補助の拡大についての意見書には反対 会派で独自の意見書を提出
2面	新交通 アストラムライン延伸は反対 修正案を会派で提案、賛成少数(19人/53人) で否決
3面	職員の給与値上げに反対 時間外手当について質問
4面	サッカースタジアムについて



アストラム削除の修正案を提出

子ども医療費補助、拡大したが政令市比較では下位グループ

医療費補助拡大の素案が示されたのが12月議会、議会の意見を反映する時間はなかった

現在の医療費補助は・・・

平成29年1月1日より補助が拡大

- 入院は無料
- 通院は月ごと1医療機関初診500円負担
いずれも対象は未就学児と小学1・2年生の
発達障害児。所得制限は給与所得616万未満

広島市 乳幼児補助総額 約18億2200万円
 (内、広島県の補助額約7億円)
 拡大による補助額 約8億4300万円

●入院は中学3年生まで/所得制限は現行通り	
●通院 月ごと1医療機関での自己負担は・・・	
給与所得379万2千円未満 第3子以降の子ども	初診のみ500円負担
給与所得379万2千円以上 (年収で541万6千円) 616万円未満 (年収で817万8千円)	未就学児 1日1000円2回まで 小学1～3年 1日1500円2回まで

子どもの医療費補助は、子育て支援であり少子化対策の柱です。各自治体も政策として厳しい財政の中補助を行っています。現行の広島市の制度は、「県内市町の比較では最下位部ループ、政令市比較では、入院では単独最下位、通院は最下位グループ」と答弁しました。これが拡充すると政令市比較で入院は上位ですが通院は下位グループにとどまると重ねて答弁しました。8億も補助を拡大するのに、なぜ、議論が出るのか？補助を必要としているは誰かを市は知らないのです。これまで500円の窓口負担であったものが、新たな所得区分で1000円になる方が17000人もいます。

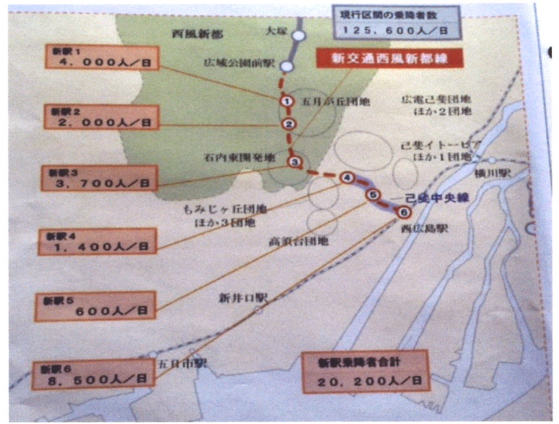
この事実を、市は「一時的には負担は増えるがトータルで見ると支援を受けることになる」と答えました。まさに、的外れな考え方です。子どもは小さい時ほど病院に行くのです。小児科以外にも歯科や皮膚科にも、そのたびに1000円必要になる方が生まれます。

制度見直しの意見書を提出

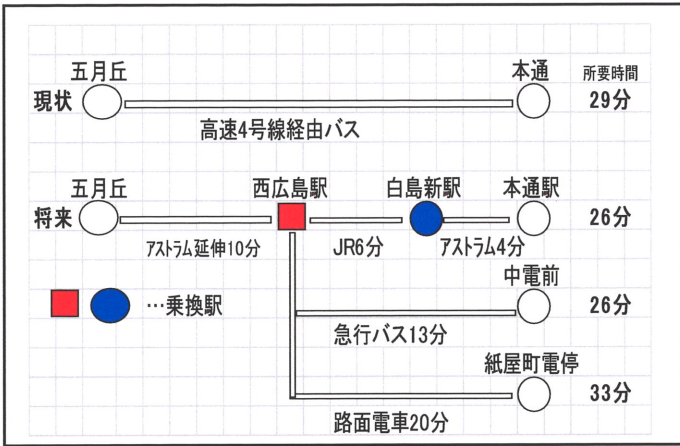
新たな所得区分をほすように、窓口負担を500円
 の負担をおくように会派から意見書を提出しました。
 意見書は各会派から3本提出しました。その内1本
 (最大会派提出のもの)が過半数の賛同が得られよう
 になると取り下げられました。採択したのは、具体的
 内容は特にない、賛成討論のような意見書でした。
 市民には見えない議会のパワゲーム。結果、市の
 思いつきに決まりました。

アストラムライン 新交通西風新都路線延伸 7360万円を可決

基本設計、測量等の予算7360万円が承認されました。平成16年2月、秋葉市長の諮問機関「公共事業見直委員会」においていったん中止とされた延伸計画。平成25年6月松井市長が、西風新都の全体計画を見直し、アストラムラインの延伸が西風新都のポテンシャルを飛躍的に向上させると事業決定しました。将来に向けての都市づくりは本来的に行政が担うもの責任を持って進めるとし、平成28年度予算に提案。



写真が小さいのですが、広域公園前から五月が丘に2駅、イオンの石内東に1駅ここまでが1期工事、西広島を含め3駅延伸部分は全て不便な単線です。



甘い計画の一端が分かる図、五月丘～本通りまでバスは29分アストラムを利用すれば26分で着く！五月丘からアストラムで己斐駅に行き、己斐からJRで白島新駅に行き、再びアストラムで本通駅に行く方が早いというのだ、五月丘からこのルートで本通りに行く人はまずいない。2回の乗り換えが各3分。10分間隔のJRやアストラムで3分の乗り継ぎは不可能

未来に借金を押し付けるだけ 予算削除の修正案を提案

7360万円の予算を認めれば、570億円の巨額の事業費が重くなります。会派で予算削除の修正案を提出。最終日、本会議の採決は、53人中19人の賛同で否決されました。

議会は生き物。この案件だけでなく、多くの案件が提案される予算審議の議会では、各会派の賛否が複雑に絡む。修正案の賛同をとるため各会派と交渉を繰り返す。交渉は、議会内だけでなく、市長＝当局も議案を通すため、議員を使い、又は局長が調整に介入してくる。報道されないバトルが議場の外で行われる。

予算削除の理由は2つ...

- ① 利用者数：当初のアストラム延伸計画に新白島駅(JR)との連絡は入っていないがJRと連絡したことで利用者は増。さらに西広島駅に連絡しても微増の域。延伸部分は単線
- ② 全線開通は、平成42年。総事業費570億円。利益は年間1億2千万円。回収には500年が必要。採算性のある事業ではない。事業主体の広島高速交通は、開業以来経営費が累積損失13億円。広島市の借金300億円

アストラムにも地下街開発も右肩下りの時代の計画であったことは過去の議事録から明らか。どのように簡単に賛成できるのか。本会議にせめて反対した議員がいたことと残しておきたい。今後の事業費も手直し見ていく。

※この通信は、会派の承認を得て発行している。

広島市の人口が減少

	総人口	生産年齢人口
2015年	1188千人	731千人
2030年	1153千人	678千人
2040年	1093千人	591千人

2015年より人口減少に突入
アストラムライン完成の2030年には
人口以上に働く世代が53000人減少

広島市の借金

9472億円
445億円
9027億円

平成15年度
財政非常事態宣言

1兆1078億円
3054億円
8024億円

平成27年度
平成23年から
1兆円を超える

財政非常事態宣言
より借金は増！
グレー部分は
臨時財政対策債
国が交付税措置
するもの・・・
いつも分けて議論
するが借金には
違いない。
交付税は減らされ
て来ている。

職員の時間外勤務手当46億円、時間単価は2875円 決算額は予算の1.4倍 増加傾向

過去5年時間外手当の推移

	予算額	決算額
平成22年	47.9億円	58.1億円
平成23年	47.8億円	58.7億円
平成24年	47.6億円	61.1億円
平成25年	47.5億円	65.4億円
平成26年	32.2億円	46.5億円

左の表は、過去5年間の時間外勤務手当の予算額と決算額を比較したものです。平成26年減少しているのは病院事業が独立行政法人となり、行政から外れた為です。私が議員になった平成15年からの推移を見ても一度も予算内で収まった年度はありません。年間の月平均時間外勤務が100時間を超える職員が13人いると答弁しました。月200時間を超えることもある。どのような指示命令なのか、毎日5~10時間の残業となる。平均の時間単価を計算させました。2875円です。高額な時間単価が、既得権のように支払われていきます。

予算額に対し、1.4倍もの決算額。しかし、時間外手当の補正予算が出たことは災害時以外ありません。15億円程度の増額なら充分吸収できる人件費の予算という事。時間外手当が恒常的に多いとみこし予算を多目に組んであるのだからです。

広島市は、人件費抑制の方法として職員数の削減で対応。嘱託職員や臨時職員に置き替えましたが、結局、総人件費は努力の割には微減です。46億円の時間外手当は500人分の職員数です。「いそ職員を増やしたらどう健康に働かせ、総人件費は減るのでは」と質問したに、答弁はありませんでした。

松井市長は財政健全心に消極的。財政運営方針の人件費削減は4文字。最後の内容です。

職員給与・ボーナスの値上げには反対

2月議会、職員の給与改定の議案が出されました。今回の改定は、給与は月978円値上げ、ボーナスは0.1月分値上げ、民間給与と比較して低かったので値上げをするものです。一般職員の値上げに伴い市長、副市長、教育長、議員も併せて値上げします。総額6億6千万円の増額になります。民間との比較と言っても、極々一部の大手企業との比較であり、国税庁の民間給与とは違います。民間を正しく調査していない。給与アップには反対です。いつも反対は少数ですが、今回は、市長や議員の値上げは必要ないと会派で修正案を提出しました。が、当然のように賛成少数で否決されました。広島市職員の給与は、平均で約700万円どの民間と比較して給与が低いのか、調査の公開はない。

みなと公園なら使わない サンフ会長の言葉に驚く

3/4、サンフレッチェ会長のサッカースタジアム独自案発表により広島県、広島市に動揺が広まった。議会は予算審議、この日は建設関係の審議だった。最初の質問者に対し市長が「検討協議会にはサンフレッチェの社長も加わっている中身は理解していると思う。しっかり議論していることを理解してもらいたい」と、わざわざ述べた。独自案の発表は衝撃的だった。

- ①みなと公園なら使わない採算が取れない。
- ②行政の金はあてにしない、独自で30億円は出す。
- ③自分たちの意見を聞いてもらえなかった

サンフレッチェの意見も踏まえた提言であったとする市長の意見とは食い違う。サンフレッチェの意見は感情的な感もあるが、どのような議論だったのかこうするしかなかったとも取れる行動に思えた。



今議会の焦点は、乳幼児医療費補助とアストラムライン延伸、記事にはしなかったが、安芸区船越地区の東部立体交差事業の3本で各会派の調整が行われた。すべて市長の思い通りの採決で幕を閉じた。翌日の朝刊には乳幼児医療の小さな記事だけ、修正案はすべて実らなかった。でも負けないぞ！一つ一つの議案を大切に頑張りたい。

スタジアム検討協議会 に議事録は無かった

県サッカー協会、広島県、広島市商工会議所で構成するサッカースタジアム検討協議会が平成25年6/6～平成26年11/21までの間19回に及び会議で広島に相応しいスタジアムとして旧市民球場跡とみなと公園の2か所を提言しているが、議事録がなかったことが県議会の質問で明らかになった。慌てて出してきたのが未定稿のテープ起こした内容、日付も開催時間も入っていない。県市がよるところとする提言の内容の信ぴょう性に疑問がわく

写真は、検討協議会の提言を踏まえ知事がみなと公園が優位とした場所へレポートの上あたりがそれ当事者が使わないと公言した施設の優位性に執着する県市。

一方の当事者、港湾関係者からもスタジアム検討に港湾の物流が外されている。サッカーによる渋滞は死活問題と反対の立場。なぜこのような意見を聞いていないのか

カーブ同様にサンフレッチェも広島の大切な財産。マツダスタジアムの時はカーブの意向を重要視した。今回はなぜそうならないのか・・・税金を使わず建設するというのだ反対する理由があまりない。

発行日 H28年4月7日
発行者 広島市議会議員
くわた 恭子
〒731-515 佐伯区河内南2-30-2
TEL929-293C FAX929-2928
OPEN 9時～17時(月～金)



皆様のご意見を
お待ちしております。
予算特別委員会の中継を
市議会のホームページから
見ることができます。
是非ご覧ください。